

湊川短期大学における生成 AI 利用ガイドライン

近年、生成 AI（ChatGPT、Gemini、Claude、Stable、Sora 等）の技術は急速に進展し、広く普及しています。教育・研究活動においても、生成 AI の活用による様々な効果が期待されています。一方で、出力される情報の正確性、著作権、プライバシー等に関するリスクも指摘されています。そこで本学では、学生の皆さんが教育・研究活動において生成 AI を適切かつ安全に活用するため、本ガイドラインを策定しました。

1. 目的

生成 AI が教育・研究活動に有用な手段となり得ることを踏まえ、その利用を一律に禁止するのではなく、特性やリスクを理解し、適切かつ責任ある活用法を理解することを目的とします。

2. 利用上の留意事項

（１） 生成 AI の出力をそのまま提出しない。

レポート、課題、論文等において、生成 AI の出力を自らの成果物としてそのまま提出してはいけません。生成 AI を利用できる範囲や利用した場合の申告方法等については、科目担当者の指示に従ってください。

（２） 出力された内容の正確性を確認する。

生成 AI は、事実と異なる内容（ハルシネーション）や、偏った情報（バイアス）を出力することがあります。出力された情報を鵜呑みにせず、専門書、学術論文、公的機関の資料等、信頼できる情報源と照らし合わせ、内容の正確性を確認してください。

（３） 著作権等、他者の権利を侵害しない。

生成 AI が出力するコンテンツの中には、他者の著作物と同一または類似する内容が含まれることがあります。出力を利用または公開する際は、著作権、商標権、肖像権等を侵害していないかを確認し、適切に取り扱ってください。

（４） 個人情報・機密情報の取扱いに注意する。

生成 AI に入力した情報は、サービスや設定によって、AI モデルの学習等に利用される場合があります。情報漏洩やプライバシー侵害を防ぐため、個人情報、機密情報、授業内でのみ共有された資料、未公開の研究情報等を入力しないでください。

3. ガイドラインの見直しについて

生成 AI を取り巻く技術や利用環境は急速に変化しています。本ガイドラインは、技術の進展、社会情勢、関係法令等の今後の状況を踏まえ、必要に応じて継続的に見直しを行います。